



2009.11.15 七五三のお祝い

御国が来ますように

助任司祭ナジ・エデルベルトウス

典礼のカレンダーの元旦は普通のカレンダーの終りごろに当たります。待降節の始まりの日曜日の事です。クリスマス之歌が待降節の前つまり前年の間の終り頃、ある普通の店で先に流されました。お客様の買い物気分を高めるために流されるのかもしれないが、イエス様が多くの人に喜びを与える事がわかる時に、感謝の気持ちもちらつとわき出ると感じた事があります。イエス様による救いを記念する喜びのある音楽は、多くの人に力をつけるのではないのでしょうか。神の国が来、そして始まる気がします。

さて待降節と言えば自分はある詩編を思い出します。と言いますと「私は静かに神を待つ私の救いは神から来る」と言う詩編です。

静かとは揺るぎない信頼と言う意味ではないかと思えます。パンや馬や王様に信頼を寄せるのではなく神に信頼をよせるのです。代々イスラエルの人々は、エレミアによる神の言葉を心に留めました「エレミア 33・14」。「主はわれらの救いという意味ある名前を持つ方を待ち臨んだ人は多くいました。ふと思いついたのはシメオンとアンナの事です。二人は長い年月を掛

次頁へつづく

平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第2水曜日 午後2時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻:

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday:
9:30 am Mass in English (Maria Kan-Hall)
第4日曜日 午後2時 ベトナム語のミサ

第八回運営委員会議事録

日時 12月6日
11時20分～12時35分
場所 司祭館1階集会室

司祭団より

けて神殿で祈りながら、公平と正義を持つて国を治める方であるイエス様を静かに待ちました。シメオンはイエス「エレミア33・16」と言う幼子の名前を耳にした時、神の忠実を思い出して喜んで歌いました。クリスマスはシメオンのように喜び祝うべき神の業の記念です。人間に対して神の忠実さに基づいた出来事だからです。

年ごとに私達は待降節を迎えますが、それはただイエス様の誕生の記念日を祝う準備だけでなく、イエス様来臨の準備にもなります。私達が、神の計らいの内にあつて、神からイエス様による力を頂いて救いの完成に向かつて歩み、生活するので、主の再臨を意識しながら、シメオンとアンナのように待降節を祈りの期間にすればと思います。

「神を拝みなさい」とイエス様がサタンに言われたように「マタイ4・10」、知らずにクリスマス之歌が好きになつた方々を始め、すべての人の心にイエス様の御心が生きるように願いながら、今年のクリスマス喜びの内に迎えられると思ひます。すべての人の救いを願ひ、私達は主の日を待ち望みます。

報告事項

1. 城東ブロック会議

9月27日に開催された城東ブロックの集いについて意見交換、会計報告が行われた。環境をテーマとした講演（シーゲル神父、広田奈津子さん）は好評であったが、宣伝不足やカトリックらしさが欠けていたのは、との意見も出された。信徒協理理事会より、今年度の世界祈祷日（プロテスタントと合同）は、カトリック側が当番となり、3月5日（金）に城北橋教会で行われる旨報告があつた。

3. 教区デーの取り組み

11月29日、約25名が参加。3つのグループに分かれて分かち合いを行った。来年は11月28日実施予定で、当教会から神戸さんが実行委員になつた。「より楽しい」ものにしていきたい。

審議事項

1. クリスマス・ミサに関係する事項

当日の駐車場については、南山高校男子部と南山小学校の駐車場の使用許可を得た。駐車場の整理係はヨセフ会とボーイが分担する。

パーティ準備に関わる方は教会中庭、その他早く来られる方は男子部や南山小学校の駐車場を利用し、教会駐車場（聖堂外周）は体の不自由な方や初めて来られる方が利用できるようにする。

このことについて、駐車場所

○「神を拝みなさい」とイエス様がサタンに言われたように「マタイ4・10」、知らずにクリスマス之歌が好きになつた方々を始め、すべての人の心にイエス様の御心が生きるように願いながら、今年のクリスマス喜びの内に迎えられると思ひます。すべての人の救いを願ひ、私達は主の日を待ち望みます。

○12月20日の9時半ミサ終了後、ダルクの募金活動（毎年恒例）がある。

○12月24日の16時ミサ後および、25日の朝10時ミサ後、AJUによるブドウ酒販売が行われる。

宣教師司牧評議会より、カトリック障害者連絡協議会（カ障連）の次期大会を二〇一二年7月14日から15日、名古屋にて開催する方向で検討しているとの報告があつた。

2. 納骨堂管理委員会

11月8日に半田教会と合同慰霊祭を開催。終了後、マリア館にて半田教会と南山教会の主任司祭および信徒組織の代表者、

の地図（一方通行箇所も示す）とともに、来週以降の「教会のお知らせ」のプリントで周知していく。

なお、駐車場は明るくしておいてほしいとの要望があった。パーティの準備については、有志を募って実行することを決定、これまでのところ順調に協力者が集まっている。運営委員長が最終的に取りまとめるが、女性側の「窓口」となる人がいた方がよいとの意見があり、その役割を今枝さんと笠原さんにお願ひすることとなった。

2. バザー収益の配分について
笠原実行委員長より、11月22日に開催されたバザー実行委員会の報告があり、そこでの審議およびボクダンの了承のもとに、約90万円の収益金の寄付先と金額の按分案が提案され、審議の結果、これを承認した。配分先の基準については、原則としてカトリックまたはプロテスタントに関係している団体であること、当教会信者が関わりを持つていること、という条件が定められていることを確認した。また配分の一部は当教会の「災害対策基金」に積み立てる

が、この基金の目的や使い方等について明文化しておいた方がいいのではないか、担当の委員会が必要ではないか、との意見が出された。

来年度以降のバザーへ向けての申し送りとして、洗い場付近の仮設シートと柱の設置、ごみ処理の方法等について検討し、必要な予算を措置する。

3. 新成人のお祝について
元旦のミサで3名の新成人をお祝いする予定。その後、マリア館にて関係者によるパーティ。

4. 二〇一〇年教区年間テーマを受けた小教区の具体的取組み
司教年頭書簡の発行と同時に、小教区の具体的な取り組みの案を募集し、2月の運営委員会で最終決定することとした。

5. その他
財務委員会 来年度予算案の策定にむけて、各会の予算の増、減額の希望等あれば今年中に教区事務所に提出してほしい。

各会報告

1. 典礼委員会

11月8日 死者のための祈り、八事納骨堂でのミサ。

11月15日 七五三の祝福。

11月22日 入門式。

12月6日 宣教地司祭育成の日。神言神学院神学生らと共に9時半のミサを捧げた。

12月13日 共同回心式。インターナショナル・ミサ。

12月20日 典礼委員会。

クリスマスミサ時間 24日は16時、20時、24時。25日は10時。

年末年始のミサ時間 31日は23時、元旦は10時。

12月13日に第5回の班長会を開催する。

2、ヨセフ会

3、マリア会

樹（いつき）の会会長金森さんが例会に出席。バザー用品のお礼と会員募集された。

遠足の会計報告がされた。

新年会は、1月15日（金）11時よりマリア館ホールにて行う。会費は千八百円。女性の方はどなたでもご参加ください。

4、英語ミサ

12月24日の20時ミサは日英合同で、一朗読と一共同祈願は英語の予定。

1月31日は日英合同ミサ。

5、ボーイスカウト

親子ハイイクは無事終了。11月28日（土）東海自然歩道を歩く。参加30名。

12月20日（日）午後1時よりマリア館ホールにて第45回と合同クリスマス会。エディ師に講話を依頼する。

12月24日のクリスマス・ミサでの駐車場整理手伝い、三名程度を予定。午後七時より。

1月17日（日）午前10時より新年餅つき大会を開催。一般参加も自由。

2月26日から28日の予定で岐阜県木平スキー場へ冬季訓練。参加30名を予定。

6、聖ラザロ村友の会

年末までに、ご挨拶と会計報告の郵送を行う。

7、教会学校

11月15日 七五三のお祝いは、こども部屋と教会学校保護者の方々の献身的なご奉仕により滞りなく終了した。

8、こども部屋

12月第2水曜日のこども部屋はなし。クリスマス会を21日（月）14時半からマリア館ホールにて行う。

愛と苦しみ (その11)

人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

B・ノヴァク神父

3・2 イエスの洗礼

3・2・1 イエスが使命を受け入れて、それを始める

「アンナスとカイアファとが大祭司であったとき、神の言葉が荒野でザカリヤの子ヨハネに降った。そこで、ヨハネはヨルダン川沿いの地方一帯に行つて、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた。」ルカ 3:3

洗礼者ヨハネが授けた悔い改めの洗礼は、罪の告白と神の掟を守る、つまり神のみ旨に適つて生きるという決心が伴う償いの儀式でした。この洗礼を受ける直接の目的というのは、メシアの到来のための準備でした。イエスは罪を犯したことがなかったし、自分自身がメシアであったので、この洗礼を受ける必要がありませんでした。洗礼

者ヨハネの周りに集まっていた(マタ 21・32) 大勢の罪人の中に入ることは、完全に清い方であつて、何よりも罪を憎んだイエスにとつて非常に苦しいことであつたはずで

す。洗礼を受けるために

近づいたイエスを見た洗礼者ヨハネが驚いて、イエスの依頼を断ろうとしたとき、イエスはこう言われました。「今は、止めないでほしい。正しいことをすべて行うのは、我々にふさわしいことです。」(マタ 3・15) イエスは言われた「正しいこと」とい

うのは、父である神のみ旨を行うこと、他ならないでしょう。イエスは罪びとの中に入られて、彼らと同じように悔い改めの洗礼を受けられた、つまり償いの儀式を行つたのは、父である神がそう



望まれたためでした。神が求められたのは、イエスがあがないの業、つまり人間を罪の奴隷状態から解放する業をこのように始めるということでした。

度々イスラエルの民と愛の契約を結ばれて、何回もイスラエル人の罪を赦した神は、罪人さえも愛しておられることや、罪を犯した人は、この罪を痛悔し、それから離れたいと望め

ば、必ず赦してくださいと示されました。同時に、イスラエル人が絶えず神と結んだ契約を破つたり、罪に戻つたりしたことによつて示したのは、人間が完全に心を開いて神の愛を永久に受け入れることがなかなか出来ないということでした。その

ために、人間は神と和解することが出来ないわけです。また、イスラエル人の歴史が示しているのは、人間には、神の愛に愛をもつて応えることが出来ないということでした。結果として、人間は神と一致して、自分の存在の目的に達することが出来ないわけです。そのような人々のところに神はイエスを遣わして下さいました。神が御独り子をこの世に遣わされたのは、彼が人間になつて、つまり人間性を受け入れることによつて、すべての人と結ばれてから、全人類の名によつて、それとももつと厳密的に言えば一人ひとりの名によつて、罪の暗闇の中から神の愛に愛をもつて応えるためなのです。これによつて神と人類との間の和解が実現されること、つまり永遠に続く新しい契約が結ばれることが計画されていたわけです。同時にイエスは神の愛に忠実に生きることによつて、あらゆる罪を赦すことの出来る神の愛、または、人間をあらゆる罪の奴隷状態から解放することの出来る神の愛をすべての人々に現すこと

教区デー

松浦 典文

を神が望まれました。そのために、イエスが悔い改めの洗礼を受けた瞬間は、神がイエスを罪びとの手に引き渡す瞬間であると言えるわけです。または、イエスの方から考えれば、それは、全人類の罪の結果を受け入れなければならぬというところ、それから預言者イザヤが預言した通りに罪人の手の中に苦しむ僕になるということをはつきりと意識しながらイエスがこの使命を受け入れる瞬間でした。イエスにとつて悔い改めの洗礼を受けるといふことは、神の小羊の役割を受け入れる、つまりすべての人の罪のためのいけにえになるということの意味しました。そのために、それはイエスのへりくだりの瞬間でもあったと言えます。この意味では、水の洗礼は、血の洗礼、つまりイエスのもつと大きなへりくだりであった十字架の死を先取りしているとまで言えます。

参照… マタ 3・13〜17、

ヨハ 1・29〜34

(つづく)

11月29日9時半のミサ後、マリア館ホールにて、教区デーの取り組みを行いました。教区デーには、司教様の年頭書簡をもとに小教区で取り組んだことの総括をすることになっています。今年度は、聖人から学んだことの分かち合いでした。ボクダン神父様の導きで、20名超の参加者が3つのグループに分かれ、それぞれのグループで分かち合いをしました。また、その中で出てきたことを全体で共有しました。

出てきたことのうちのいくつかを列挙してみます。

○聖人の中の聖人は、イエス様。様々な聖人の姿は、イエス様の聖性の一つの次元を表している。イエス様に学ぶことがもつとも大事である。

○イエス様の生涯は悲劇的と思つたが、ボクダン神父様の勉強会でマルコの福音を読んだとき、元氣なイエス様が浮かんできた。

○日常の生活を丁寧にしていくことが聖人の生き方につながるものとなっていくのではないだろうか。

○毎日の生活が祈りである。

○掃除も祈りになっている。

○四木会が主催して行われたパウロの映画の3時間は、参加する前は長いと思つたが、良かった。

○お知らせを聞いて使徒行録を読んだ。知ることを求めてきたが、学ぶことをしっかりとやっていきたい。まとめたいと思つたが、うまくまとまらなかつた。でも、聖霊にまかせて出席してみようと思つた。

○司祭年をきっかけにビアンネの伝記を読んだ。

○パウロの本のおもだったものを読めたのは、パウロ年のおかげ。パウロを身近に感じた。本を通じて聖人と近づけた。

○名古屋教区にも3千人の殉教者がいる。その3千人のほとんどは一般信徒。信徒がしっかりと役割を果たしていたらしい。

○日本26聖人の殉教の意味。いろいろあるが、長崎への道のりの中で、互いの立場の違いを超え、キリストにおいて一つになっていく過程でもあったらしい。とてもすべては書ききれませ来年は、教区としての行事があるようです。



半田教会との合同慰霊祭

松浦 典文

11月8日15時から、八事霊園にある半田教会南山教会共同納骨堂前にて合同慰霊祭が行われました。ボクダン神父様の司式によるミサにおよそ30名ほどの方が参加されました。ミサ後には、南山教会にて、納骨堂の整備について話し合いをもちました。よく相談しながら、祭壇や献花台の整備、扉の改修などを進める予定です。

ボーイ親子ハイクで足ガクガク！

伊藤 宗太郎

去る11月28日(土)に97団のスカウト達はカブ、ビーバー隊を中心に親子ハイキングを行った。目的は善師野から犬山へ抜ける東海自然歩道の山道を家族と子供ともども30名が元気よく踏破した。交通機関は名古屋地下鉄と名鉄を利用した。名鉄善師野駅を下車して、すぐ胸突き八丁目の登山道をハイ、ヒーヒーと登った。石がごろごろの山道でいささかきついハイキングだ。子供たちの疲れを忘れさせ、元気づけるために参道に楽しいゲームの6ポイントを設けた。「駅名当て」「ロープゲーム」「感触ゲーム」「品名記憶ゲーム」など数多くの関所をワイワイ、ガヤガヤと突破した。お昼のスカ弁を継鹿尾山で親子して美味しそうに食べ、元気を盛り返した。最後は日本最古の木造の犬山城で階段を疲れた足をひきずつ



て駆け登った。もう脚はガタガタで、帰り道はヨタヨタだ。だが、親子して元気よく全員夕方6時、南山教会中庭に着いた。お疲れさま！お父さんご苦労さま！

【予告】
ボーイスカウトの餅つき大会

日時 平成22年1月17日
午前10時〜お昼まで
場所 南山教会中庭

内容 餡ころ餅 キナ粉餅
雑煮など食べ放題
どなたでも参加できます。
餅つきの実演も参加してください。

主催 ボーイスカウト名古屋
97団



カトリック教会のカテキズムより

524 教会は毎年、待降節の典礼を行いながら、メシアへの待望を再現します。キリスト者は救い主の最初の来臨に向かう長期の準備に心を合わせながら、再臨への熱い待望を新たにします。先駆者の誕生と殉教を祝うことで、教会は、「あのかたは栄え、わたしは衰えねばならない」(ヨハネ3・30)というヨハネの願望を自分のものとし

1095 以上の理由で、教会はとくに待降節と四旬節、わけても復活徹夜祭で、救いの歴史のすべての重大な出来事を典礼の「今日」という場に立って読み直し、追体験します。しかし、それが実際に効果あるものとなるためには、教会の典礼が表現し体験させている救いの営みを「霊的に」理解できるように、カテケージスを通して信者を助けることが必要です。

南山句会

平成二十一年十一月



かさこそと風にころげる葛落葉

喪ごころのそれぞれにあり十三夜

落葉掃く後姿の夾かな

あまりにもわかかなの寒に構えなく

アイダをはねて見上ぐる冬の星

長編を斜め読みする夜長かな

懐かしき人の笑顔や秋バザー

長き夜や昔語りの聞き役に

漸寒の古書肆に求む罪と罰

秋の蝶狂ふがごとく舞ひにけり

贈られし首飾り付け夜長かな

柿一顆食べをり亡夫の年越えて

とく子

義子

幸男

光子

あき子

紀子

せつ子

佐知子

のぼる

ひろし

瑞子

洋子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館一階集会室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

Tran Cong Anh Phuong
Mabe Shigeharu

転出

いつまでもお元気で

使徒ヨハネ 小林敬明 (恵方町)
マリア 小林須美子 (恵方町)
フランシスコ 小林進一郎 (恵方町)
フランシスカ 小林美果 (恵方町)

転入

ようこそ

ベルナデッタ 佐藤祐子 (豊橋)

2009年12月・2010年1月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
12月	8(火)無原罪の聖マリア 25(金)主の降誕 27(日)聖家族	13(日)共同回心式 24(木)主の降誕の前夜ミサ 21:30クリスマス パーティ 25(金)10:00主の降誕ミサ 31(木)23:00旧年感謝ミサ・新年の祝福	4(金)マリア会例会 6(日)運営委員会 12(土)要約筆記付きミサ 13(日)ボーイスカウトクリスマス会 20(日)典礼委員会 20(日)教会学校クリスマス会 21(月)子ども部屋クリスマス会	6(日)宣教地司祭育成の日(献金) 10(木)司祭協議会 13(日)14:00インターナショナルクリスマスミサ
1月	1(金)神の母聖マリア・世界平和祈願日 3(日)主の公現 10(日)主の洗礼	1(金)10:00新年平和ミサ・成人式 24(日)管区に予算書提出	10(日)教会学校始業式 13(水)14:30子ども部屋 15(金)マリア会新年会 17(日)運営委員会 17(日)新春餅つき大会(ボーイ) 23(土)要約筆記付きミサ (日)典礼委員会 (日)ヨセフ会新年会	1(金)世界平和の日 10(日)信徒協「司教を囲む新年の集い」 17(日)~25日キリスト教一致祈禱週間 21(木)司祭協議会 31(日)児童福祉の日特別献金



南山教会のクリスマスミサのご案内

クリスマスイヴの夜

12月24日(木) 16:00; 20:00; 24:00

クリスマス当日

12月25日(金) 10:00

年末年始ミサ時間

感謝ミサ: 12月31日(木) 23:00

ミサ後聖体礼拝と祝福

新年ミサ: 1月 1日(金) 10:00

カトリック信者でなくてもミサに参加することができます。